

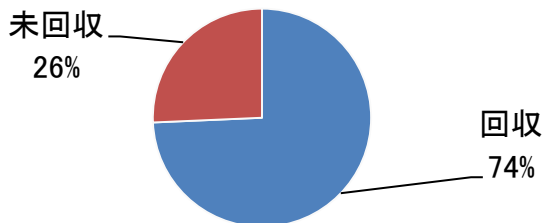
「島原市在宅医療・介護連携セミナー」アンケート

平成31年1月25日開催

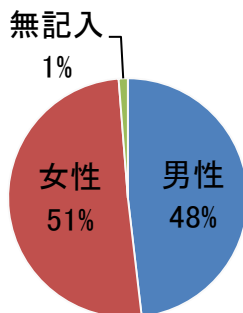
参加者 109名

アンケート回収率

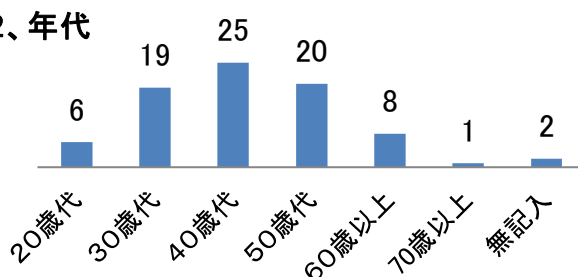
回収 81枚
未回収 28枚



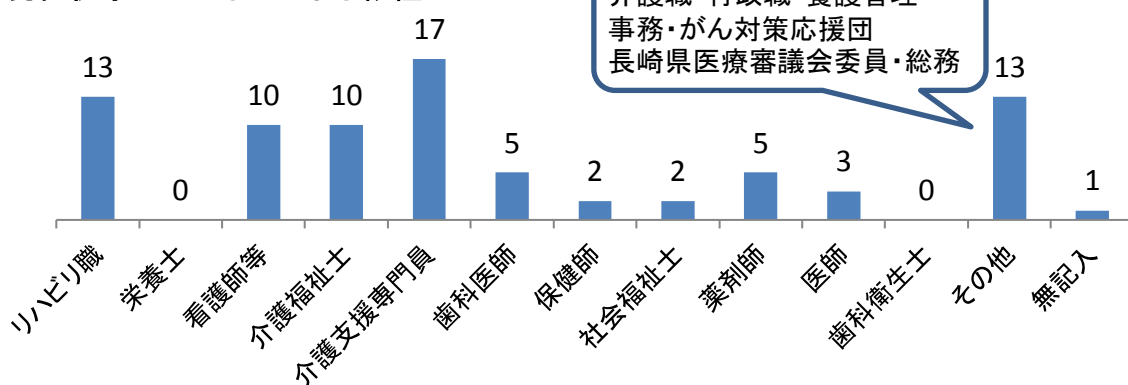
1、性別



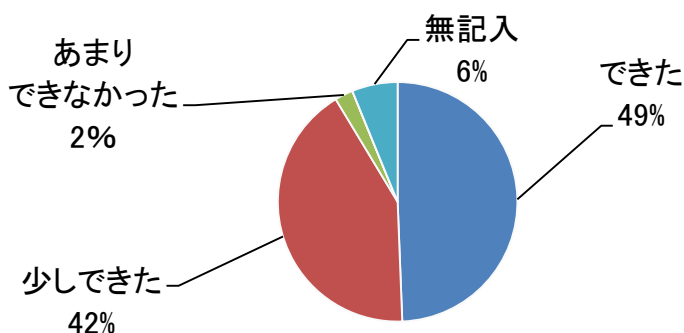
2、年代



3、現在従事している主となる職種



4、本日の講演の内容は理解できましたか。



講演を聞いての感想をご記入ください。

- ① 最初からできないときめつけるのではなくやれることをみつけていくことが大事だと思いました。
- ② 大変勉強になりました。
- ③ 地域ケアについての学習が深まった。
- ④ つなぐの運営やALS患者の話等具体的な話があるなどすごくためになりました。
- ⑤ 家で生活(生きる)できる環境作りをもっと積極的にやっていかなくてはと思いました。

- ⑥ 当事者の思いを聞きながら地域を作っていく姿に感動しました。
- ⑦ サーバントリーダーシップを聞いた又自分で調べてさらに学びたいと思った。天草に行ってみたくてと思いました。
- ⑧ どの地域にも前向きなやさしい人達はいると嬉しくなります。
- ⑨ 連携とは何か…お互いが何が出来るのかを各職種で出し合い行動すること、連携できるように自分が何が出来るか考えたいと思います。
- ⑩ 色々考えさせられました。ありがとうございます。
- ⑪ よかったです
- ⑫ 天草でのとりくみ、先生の活動をききそのような先生がいらっしゃると在宅での医療、生活する人も幸せというか素敵な地域だと思いました
- ⑬ 参加前に期待していたものとは少し違いましたが地域で暮らすということは、地域で生きるということはどういうことなのか考えることができました。ありがとうございました。
- ⑭ 包括ケアシステムのわかりやすい入り方が参考になりました。
- ⑮ 天草での取り組みや問題点等を講演の中で伝えていただき、地域包括ケアシステムにとって重要な点を理解できたと思います。
- ⑯ もう少し、ゆっくり話を聞きたかったです。
- ⑰ 資源作り、色々な取り組みをされ、すごいなあと言うのが感想です。ありがとうございました
- ⑱ 時間が少なかったので詳しく聞きたかったです。
- ⑲ とてもわかりやすかったです
- ⑳ 自身の仕事も含め自分で何が出来るかを考える機会となった。
- ㉑ 倉本先生の講演は大変参考になりました。ALSの患者さんのビデオは心にしみました。ありがとうございました。
- ㉒ 有意義な時間でした
- ㉓ とてもおもしろかったです
- ㉔ 最後のビデオを見て感動しました。
- ㉕ 共に生活するという視点が大切だと思いました。子供からお年寄りまで、病気をかかえた方にはその人の目線で必要なことをとって活動されている思いが感動しました。
- ㉖ むずかしかったです
- ㉗ 多死社会に突入している島原でいかに地域が人を支えていくか。各人、人生観が違いどんな人生の最期が良いのかはその人にしか分からないが、その人にかわらないが、その人の望む人生の最期をその人が選べる島原でありたいと思いました。
- ㉘ よかったです。
- ㉙ とても楽しかった。
- ㉚ 在宅医療の話がきけてよかったです。
- ㉛ 解りやすく楽しかった。考えると意見を言えることは大切ですね。
- ㉜ 講義ではなく色々な話の中で連携を考えることができました。
- ㉝ 先生の地域でのとりくみはとても素晴らしいと感動しています。先生のようなドクターがそばにいと、地域の人たちもとても安心して自宅で生活できると思います。
- ㉞ キーパーソンへの周知。リーダー育成
- ㉟ 大変ユニークな内容で楽しかったです。
- ㊱ 地域包括ケアは、人づくり、街づくり、連携作りと感じました。
- ㊲ 毎回発見があります。
- ㊳ 出来る事への取り組みへの必要性を痛感した。

- ③⑨ 中々ためになりました。
- ④⑩ 本人の生きやすい環境を作る。
- ④⑪ 知らない言葉が多く出てきて勉強になった。

5、医療・介護・福祉関係者が連携していく上で必要なことは何だと思えますか。

- ① 情報の共有・多職種とのつながり
- ② 定期的集まり、顔を合わせる事
- ③ 患者さんを中心に定期的に話し合える環境を作ることかと思いました。
- ④ 脳内情報伝達物理的な何かが多く放出されるような関係になれるよう機会を増やす。(勉強会・お茶会等々楽しく集まれて話せる事)
- ⑤ 話し合いの場・具体的な取り組みをとおしての連携
- ⑥ 情報のツール・連携する窓口の一本化・交流会
- ⑦ このサークルを一段進化させ、つながりを強くする取り組み
- ⑧ 研修会をはじめ、様々な機会を作って、多職種の方が本音で意見を言い合える関係になること
- ⑨ 島原の将来の町づくりを考えた連携を考えるべき？
- ⑩ 各職種の方が、何を行っているかを紹介し合う場が必要だと思いました。
- ⑪ 研修会でのつながり、協働、どうにかしたいという気持ち。
- ⑫ 一緒に地域で過ごす時間。各職種の時間的余裕
- ⑬ 連携・顔見知りになること
- ⑭ お互いのわからないをそのままにしない事、個々でつながりをもとうとする意識が大事だと思います。
- ⑮ 多職種間の研修会をもっと多く開催すること
- ⑯ 地域住民、人々のつながり、地域と医療、福祉等との身近な声を聞けるような場作り
- ⑰ ひょっとすると一人のカリスマが必要なのもかもしれないとも思いました。誰かが強い力でリードしていく？
- ⑱ 顔のみえる関係とお互いがどんな仕事を担っているかを知る事が大事だと思う
- ⑲ 自分から発信していく
- ⑳ メールリスト等でのつながりはどうでしょうか
- ㉑ お互い何が出来るんだろうという視点を改めて感じ、考えることが大切だと思いました。
- ㉒ 研修会での他職種との情報交換
- ㉓ 今日のように物理的にどんどん合う回数を増やして話すこと。最初は緊張するが、のちのち少し本音を話せるようになると思う。
- ㉔ 今回のようなグループワークをかたくくならない形で継続して行っていくことで地域全体の体制が早期に形成されること。
- ㉕ 地域の実情を知るという事。
- ㉖ 今回のような講演会の開催による連携だと思います。
- ㉗ 色々な事例やお互いの立場、現状を話してみることも必要ですね。お互いの事例を知ること、理解していく事。
- ㉘ お互いの職種をこえた情報交換する場所等で交流できる活動等。
- ㉙ 他職種(各職種)のできる事。できないことの理解とコミュニケーション。
- ㉚ 各研修会にできるだけ参加してカンサに努めていきたい。

- ③① 家族も本人も含めどの様に生きて行きたいのかを確認して行く事が大事。
- ③② できないではなく、お互いできると思うことで、話がまとまると思う。いろんな意見を出し合うことで、何が必要かわかるようにできたらいいなと思う。
- ③③ 情報共有。

6、本日の感想やご意見をご自由にお書きください。(今後受けた研修内容など)

- ① 最後のビデオが印象的でした。重度の障害をもつ方の在宅介護がいかに大変なのか分かった気がします。ACPが大事だけど難しいなと思いました。
- ② 島原は天草と同じような地域なので島原でも実施できるように勉強したい。
- ③ 考え方をまとめるのに有効なセミナーだった。
- ④ たいへんにありがとうございました。
- ⑤ 天草に行ってみたい
- ⑥ 吉田さんのALSの病との向き合っている動画がとても考えさせられたと同時に感動しました。
- ⑦ 素敵な講演ありがとうございました。
- ⑧ 少し英語などがあってわからないものがあったので難しかったです。
- ⑨ 当事者になって感じる事が重要だと思いました。
- ⑩ ありがとうございました
- ⑪ とても考えさせられる講演とグループワークでした。参加してよかったです。
- ⑫ 小規模多機能ホーム暖です。本日の先生のお話の中で認知症VRをすすめておられる。シルバーウッドの下河原さんの看取り推進研修をぜひ受けてたいです。シルバーウッド事業が有名ですが、サ高住(銀木犀)での看取りの推進でも先進的にしておられます。研修の中では認知症VRはもちろん救急救命(心臓マッサージをうける。気管挿管。電気ショック。家族の迷いシーン。)のVRなど、ぜひ島原地域で共有したい内容が多くあります。(実際に自身で体験することで理解を深める)以前私が下河原代表とお話した時島原にも来たいが看取り推進研修が厚生労働省の委託のため1法人程では資金的に厳しくあるという話をしました。ぜひ、島原という自治体で呼んでいただければ実践に活かせる素晴らしい学びになると思いますのでよろしく願います。
- ⑬ 動機づけの面接に興味が出ました。
- ⑭ 1つのケースに具体的取り組みをあげてほしい。
- ⑮ 視点の違った方向から在宅医療を考え直しました。
- ⑯ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ⑰ もっと聞きたかった。
- ⑱ 今日はありがとうございました。
- ⑲ 誰も自分の最後の日の予測はできない。残された日々の過ごし方を改めて考えようと思いました。